

高津区学校流域プロジェクト
推進業務委託報告書

平成26年3月

NPO 法人鶴見川流域ネットワーク

(目次)

1	事業概要	
1-1	実施目的	1
1-2	実施内容	
1-3	基本方針	2
2	学校流域プロジェクトの推進	
2-1	ビオトープの再整備計画作成・整備指導・支援	
2-1-1	梶ヶ谷小学校	3
3	区内市立小学校連携による環境学習の支援	
3-1	学校ビオトープ学習支援	7
3-1-1	新作小学校	8
3-1-2	久地小学校	9
3-1-3	末長小学校	10
3-1-4	久末小学校	11
3-1-5	橘小学校	12
3-1-6	西梶ヶ谷小学校	13
3-1-7	上作延小学校	14
3-1-8	南原小学校	15
3-1-9	久本小学校	16
3-1-10	下作延小学校	17
3-1-11	上作延小学校	18
3-1-12	市立養護学校	19
3-1-13	坂戸小学校	20
3-1-14	梶ヶ谷小学校	21
3-1-15	高津小学校	22
3-2	指導者向け学習会	23
4	「たかつ自然の賑わいづくり」事業の推進	
4-1	「たかつ水と緑の探検隊」のモデル実施	26

1 事業概要

1-1 実施目的

自然の賑わいに溢れた持続可能な循環型都市「エコシティたかつ」の実現に向けた目標と具体的な行動計画を示した「エコシティたかつ」推進方針のリーディングプロジェクトである「学校流域プロジェクト」を推進するため、健全な水循環と生き物の賑わいを再生し支える地域のモデル基地として、プロジェクトの支援を行い、環境学習、地域との交流活動を推進した。

1-2 実施内容

1) 学校ビオトープ再整備・管理支援

区立橘小学校において、平成 22 年度に作成した事業計画に基づき、学校側が新規に再整備を実施するにあたり、指導・支援を行った。

2) 学校ビオトープを活用した環境学習、体験活動の活性化支援・指導育成

- ・地域の自然環境とビオトープを関連付けた体験活動を通じた環境学習の支援を 14 校・15 会行 うとともに、整備済みの小学校が自立してビオトープを維持管理し、環境学習・体験活動が実施できるように指導・育成を行った。
- ・高津区で作成した副読本「広げよう つなげよう 生きものの輪」を活用した指導者向け学習会を区立梶ヶ谷小学校にて実施した。

1－3 基本方針

1) 多くの生きものが安心して暮らせる安定した環境づくり

ビオトープとは、Bio（生きもの）＋Top（場所）というドイツ語の合成語であり、「生きものの暮らす場所」という意味である。その本来の意味に立ち返り、人間にとって「自然」に見えるビオトープではなく、野生の生きものたちにとって頼りになる、安定した暮らしやすいビオトープづくりを優先することを第一の方針とした。

2) 継続的な維持管理が容易な構造

田んぼや雑木林、谷戸のため池などは生産の場であると同時に、多くの生きものが暮らすビオトープでもある。そしてこれらの環境は、放置しても維持できるものではなく、人が手入れを行って管理することによって初めて維持できるものである。

学校ビオトープ（水辺、草地、樹林いずれにせよ）も同様に、定期的な管理が必要である。そして、継続的な維持管理を行うためには、専門的な知識をもつ限られた人にか管理できない複雑な構造ではなく、児童たちが教員や地域の方々と一緒になっていつでもお世話が出来るような単純な構造にすることを第二の方針とした。

3) 地域から飛来する生きものを呼び込むビオトープづくり

池のビオトープに入れる魚類、チョウのビオトープに植える植物は外部から持ち込むが、トンボやチョウなどについては、地域に生息する個体が飛来して、産卵を行い、ビオトープで成虫になり、また地域に飛んで行くことを支える、そのためのビオトープづくりを行うことを第三の方針とした。

その上で、学校の水辺ビオトープは都市の水生生物の暮らしのネットワークを育てることに貢献できるという話をしっかり児童たちに理解してもらうようにした。

4) 雨水の貯留と利用を進める

エコシティたかつ「学校流域プロジェクト」のもうひとつの柱が、学校における雨水の貯留とその利用の推進である。そこで、雨天時に校舎、校庭に降った雨を貯留し、晴天時に利用する工夫を進めることを第四の方針とした。

2 学校流域プロジェクトの推進

2-1 ビオトープの整備指導・支援

梶ヶ谷小学校において、ビオトープにおきた不具合を直し、十分な機能をはたすための再整備を実施するにあたり、指導・支援を行った。

2-1-1 梶ヶ谷小学校

実施日	平成 26 年 1 月 23 日～2 月 3 日	
実施場所	梶ヶ谷小学校ビオトープ	
内容	ビオトープ漏水補修	
作業工程	1 月 23 日	池のかいぼり
	1 月 30 日～2 月 3 日	池の掃除と漏水修復

- ビオトープの水が抜けてしまうという学校からの報告があったので、漏水修復のための整備を行った。

1) 池のかいぼり作業

ビオトープの漏水の原因を探るために池のかいぼり作業を行った。まずは、水を全部抜いてしまう前に、生きものを採取してケースへ一時避難。その後、池の水を全て抜き、底にたまった泥も全て掻き出した。



かいぼり作業前



かいぼり作業後



ポンプによる排水



泥の掻き出し



泥の掻き出し



洗浄後の様子

2) 漏水箇所修復

池の泥を全て取り除いた後に点検を行ったところ、池の側面並びに底面の排水口が見つかった。

それぞれの排水口の行き先を確認したところ、側面の排水溝はすでに機能停止しているポンプへ、底面のものは、校外の側溝へつながっていた。底面の排水溝が泥で詰まっていたため、結果としてそれが栓となり水がたまっていたものが、なんらかの原因で泥がゆるみ、徐々に水が漏れていったものと思われる。

底面及び側面の排水口は、モルタルで塞ぎ水が漏れないようにするとともに、新たにオーバーフロー式の排水口を、校内の側溝側に新設した。

また、ビオトープの石と底面のコンクリート接合部にも隙間が多く見受けられたため、隙間を埋めた。



校外につながる排水口



排水溝を塞いだ状態



ポンプにつながる排水口



機能停止のポンプ



石の隙間埋め作業



側面の穴も塞ぐ



新しい排水口の設置



乾燥後水を張り植物を戻す

3-1 区内市立小学校連携による環境学習の支援

既存支援小学校を含めた環境学習の追加支援を行うとともに、今後の学校の主体的管理を目指し、教員向けのビオトープ整備と環境教育サポートの研修・指導を実施した。

以下のスケジュールでビオトープ整備支援を行った。

業務実施内容

	日時		場所	内容
1	2013 年	4 月 30 日	新作	池の生きものの採取と観察
2		6 月 5 日	久地	プールのヤゴ救出作戦
3		6 月 6 日	末長	池の生きものの採取と観察
4		6 月 7 日	久末	池の生きものの採取と観察
5		6 月 10 日	橘	田んぼの生きものの救出と観察
6		6 月 13 日	西梶ヶ谷	池の生きものの観察
7		6 月 20 日	上作延	池の生きものの採取と観察、プランクトン観察
8		6 月 28 日	南原	池の生きものの採取と観察
9		7 月 3 日	久本	池の生きものの採取と観察
10		7 月 8 日	下作延	池の生きものの採取と観察、花壇の観察
11		9 月 9 日	上作延	池の生きものの観察、移植作業
12		10 月 4 日	市立養護	ビオトープ解説、ビオトープ完成式
13		11 月 7 日	坂戸	ビオトープ解説、池の生きものの観察
14		11 月 8 日	梶ヶ谷	池の生きものの採取と観察
15	2014 年	1 月 14 日	高津	池の生きものの採取と観察

3-1-1 新作小学校

日 時 2013 年 4 月 30 日 (木) 14:45～15:15

場 所 新作小学校 ビオトープ

内 容 ビオトープの生きものの採取と観察

作業の説明とエコシティたかつの事について話をした。説明後、水路の中の生きものを各児童、手網を使って採集。生きものの分別を行いバケツへと移し、スタッフが生きものについて解説を行った。

観察した生きもの一覧

1	クロスジギンヤンマ(ヤゴ)
2	シオカラトンボ(ヤゴ)
3	モツゴ
4	メダカ
5	アマガエル(幼生)
6	サカマキガイ(貝殻)



エコシティ高津について解説



生きものの採集



生きものの分別



生きものの解説

3-1-2 久地小学校

日 時 2013 年 6 月 5 日 (水) 8:45~11:55

場 所 久地小学校 プール、プール脇グラウンド

内 容 プールのヤゴ救出

プール脇のグラウンドにて本日の活動説明を行った。その後、プールに向かい、班を2つに分けて1班がプールの中に入り手網を使用して、ヤゴをプールサイドにあげた。プール最後にいる班は、ヤゴを選別してバケツに入れる作業を行った。プール脇グラウンドに移動して、今日救出したヤゴについての話と飼い方の説明をした。

観察した生きもの一覧

1	ネキトンボ(ヤゴ)
2	シオカラトンボ(ヤゴ)
3	オオシオカラトンボ(ヤゴ)



安全説明



ヤゴ救出



仕分け



救出したヤゴ

3-1-3 末長小学校

日 時 2013 年 6 月 6 日 (木) 8:45 ~ 12:00

場 所 末長小学校ビオトープ、理科室

内 容 ビオトープの生きものの採取と観察

ビオトープで各児童に手網を渡して、生きものを採取した。その後、理科室へ移動して、肉眼や虫眼鏡で採取した生きものをシャーレに移して観察した。観察後、モニターや写真を使って生きものを解説した。最後に、児童による質疑応答を受けた。

観察した生きもの一覧

1	モツゴ	6	イトミミズ
2	メダカ	7	サカマキガイ
3	シオカラトンボ(ヤゴ)	8	ヒラマキガイsp
4	コミズムシ	9	プラナリア
5	ユスリカ(幼虫)		



生きものの採集



理科室での観察



生きものの解説

3-1-4 久末小学校

日 時 2013 年 6 月 7 日 (金) 8:45~12:15

場 所 久末小学校ビオトープ、理科室

内 容 ビオトープの生きものの採取と観察

ビオトープで各児童に手網を渡して、生きものを採取した。その後、理科室へ移動して、肉眼や虫眼鏡で採取した生きものをシャーレに移して観察した。観察後、モニターや写真を使って生きものを解説した。最後に、児童による質疑応答を受けた。

1	メダカ	6	コカゲロウ(幼虫)
2	ドジョウ	7	モノアラガイ
3	シオカラトンボ(ヤゴ)	8	タニシ
4	アジイトトンボヤゴ)	9	ミズムシ
5	クロスジギンヤンマ(ヤゴ)		



ビオトープ解説



生きものの採集



生きものの観察



生きものの解説

3-1-5 橘小学校

日 時 2013 年 6 月 10 日 (月) 8:50~12:05

場 所 橘小学校田んぼ

内 容 田んぼの生きものの救出と観察

田植えの前に田んぼにいる生きものを救出、観察を行った。各児童に手網を渡して生きものを採取した。採取した生きものは田んぼ脇で種類別に仕分けを行い、写真を使い生きものの解説をした。最後に、児童による質疑応答を受けた。観察した生きものは観察後、田んぼ横のビオトープに放流した。

観察した生きもの一覧

1	メダカ	6	サカマキガイ
2	シオカラトンボ(ヤゴ)	7	ユスリカ(幼虫)
3	オオシオカラトンボ(ヤゴ)		
4	ネキトンボ(ヤゴ)		
5	タニシ		



ビオトープ解説



生きものの採取



生きものの解説

3-1-6 西梶ヶ谷小学校

日 時 2013 年 6 月 13 日 (木) 8:50~11:30

場 所 西梶ヶ谷小学校 ビオトープ

内 容 ビオトープの生きものの採取と観察

雨天だったため、スタッフが事前に採取したビオトープの生きものを理科室で観察をした。ビオトープの解説後、採取した生きものを観察。虫眼鏡などで普段行う観察よりも時間をかけて観察を行った。観察後はニターや写真を使って生きものを解説した。最後に、児童による質疑応答を受けた。

観察した生きもの一覧

1	メダカ	6	ユスリカ(幼虫)
2	ギンヤンマ(ヤゴ)	7	アズマヒキガエル(幼生)
3	ショウジョウトンボ(ヤゴ)		
4	シオカラトンボ(ヤゴ)		
5	コカゲロウ(幼虫)		



ビオトープの解説



生きものの観察



生きものの解説



ヒキガエルの幼生

3-1-7 上作延小学校

日 時 2013 年 6 月 20 日 (木) 9:35~12:20

場 所 上作延小学校 ビオトープ

内 容 ビオトープの生きものの採取と観察、メダカ水槽プランクトンの観察

ビオトープで各児童に手網を渡して、生きものを採取した。その後、理科室へ移動して、肉眼や虫眼鏡で採取した生きものをシャーレに移して観察した。観察後、モニターや写真を使って生きものを解説した。また先生からの要望で5年生が飼育しているメダカの水槽内のプランクトンの観察、解説も行った。最後に、児童による質疑応答を受けた。

観察した生きもの一覧

1	メダカ	8	ミドリムシ
2	モツゴ	9	イカダモ
3	シオカラトンボ(ヤゴ)	10	クチビルケイソウ
4	アズマヒキガエル(幼生、成体)	11	ツリガネムシ
5	イトミミズ	12	ゾウリムシ
6	アオミドロ	13	ワムシ
7	ボルボックス	14	ヤゴsp



生きものの採取



生きものの解説



シオカラトンボのヤゴ

3-1-8 南原小学校

日 時 2013 年 6 月 28 日 (金) 10:55~12:25

場 所 南原小学校 ビオトープ

内 容 ビオトープの生きものの採取と観察、検証実験

ビオトープで各児童に手網を渡して、生きものを採取した。その後、理科室へ移動して、肉眼や虫眼鏡で採取した生きものをシャーレに移して観察した。観察後、モニターや写真を使って生きものを解説した。また5年生の理科の授業内容の一部「メダカは何を食べているのか」の検証実験を行った。ビオトープ、5年生がメダカを飼育している水槽から採取したプランクトンを観察後メダカに与えこれを食べるか確認した。

観察した生きものの一覧

1	メダカ	9	アオミドロ
2	ドジョウ	10	ボルボックス
3	シオカラトンボ(ヤゴ)	11	ミドリムシ
4	ショウジョウトンボ(ヤゴ)	12	クチビルケイソウ
5	クロスジギンヤンマ(ヤゴ)	13	ゾウリムシ
6	サカマキガイ	14	ワムシ
7	ユスリカ(幼虫)	15	ミジンコsp
8	カsp(幼虫・ボウフラ)		



生きものの採取



生きものの解説



イラストを使った解説

3-1-9 久本小学校

日 時 2013 年 7 月 3 日 (水) 8:00~12:15

場 所 久本小学校 ビオトープ

内 容 ビオトープの生きものの採取と観察

ビオトープで各児童に手網を渡して、生きものを採取した。その後、理科室へ移動して、肉眼や虫眼鏡で採取した生きものをシャーレに移して観察した。観察後、モニターや写真を使って生きものを解説した。解説後は先生が作成した「ビオトープの生きものの表」に記録、最後に児童による質疑応答を受けた。

観察した生きもの一覧

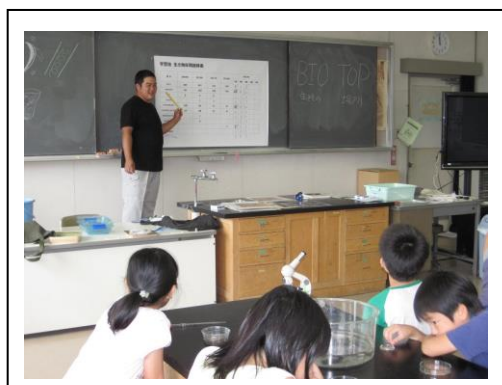
1	メダカ	7	コカゲロウ(幼虫)
2	モツゴ	8	カイミジンコ
3	ドジョウ	9	ワムシ
4	コシアキトンボ(ヤゴ)	10	ゾウリムシ
5	アメリカザリガニ	11	アオミドロ
6	ヌマエビsp	12	ケイソウ



生きものの採取



顕微鏡等を使った観察



生きものの表を使って解説

3-1-10 下作延小学校

日 時 2013 年 7 月 8 日 (月) 9:00~12:00

場 所 下作延小学校 ビオトープ

内 容 池のビオトープ生きものの観察、チョウのビオトープ生きものの観察

前半はチョウのビオトープの観察。植栽した植物に生きものが来ているかを観察。観察後事前にスタッフが集めたチョウのビオトープ周辺の生きものの観察を行った。後半はビオトープで各児童に手網を渡して、生きものを採取した。その後、肉眼で採取した生きものの観察、観察後写真を使って生きものを解説した。最後に、児童による質疑応答を受けた。

観察した生きもの一覧

1	メダカ	7	クロヒカゲ
2	ギンブナ	8	ホタルガ
3	ホトケドジョウ	9	アオスジアゲハ
4	ギンヤンマ(ヤゴ)	10	オオシオカラトンボ
5	コカゲロウ(幼虫)	11	キアシナガバチ
6	サカマキガイ		



チョウのビオトープ観察



チョウのビオトープ 7 生きものの観察



生きものの採取



解説

3-1-1 上作延小学校

日 時 2013 年 9 月 9 日 (月) 14:35~15:15

場 所 上作延小学校 ビオトープ

内 容 ビオトープの生きものの解説 アシ、ガマの移植

ビオトープの解説、生きものの解説を行った。生きものが少ないビオトープに生きものを呼ぶにはどうしたらよいかを解説し、アシ、ガマの移植作業を行った。植物はプランターに入れ、児童たちはプランターに移植をしてもらった。

観察した生きもの一覧

1	メダカ	3	ギンブナ
2	モツゴ	4	ユスリカ(幼虫)



生きものの解説



移植作業



移植したものを設置

3-1-12 川崎市立養護学校

日 時 2013 年 10 月 4 日（金） 10：30 ～ 15：00

場 所 市立養護学校

内 容 ビオトープの解説、ビオトープ完成式

室内でパワーポイントを使い、ビオトープの解説を行った。解説後はビオトープ前で「ビオトープ完成式」が模様された。式ではまずスイレンやクワイを植栽し、植栽後はメダカを放流した。また完成式前にスタッフのみで生きものの調査を行った。

観察した生きもの一覧

1	ショウジョウトンボ(ヤゴ)
2	コカゲロウ(幼虫)



ビオトープの解説



ビオトープ完成式



ビオトープへ植栽



メダカの放流

3-1-13 坂戸小学校

日 時 2013 年 11 月 7 日 (木) 8:30~12:45
 場 所 坂戸小学校 ビオトープ
 内 容 ビオトープの話、ビオトープの生きものの観察

ビオトープの解説をパワーポイントで解説。解説後はビオトープへ移動。雨天のため生きものの採取はできなかったため観察のみ行った。理科室ではスタッフが事前採取した生きものを班ごとに分かれて観察。観察後はモニター、写真等を使い観察した生きものの解説をした。最後に、児童による質疑応答を受けた。

観察した生きもの一覧

1	メダカ	5	クロスジギンヤンマ(ヤゴ)
2	モツゴ	6	ミゾレヌマエビ
3	シオカラトンボ(ヤゴ)	7	マルタニシ
4	オオシオカラトンボ(ヤゴ)	8	ミズムシ



ビオトープ解説



生きものの観察



生きものの解説

3-1-14 梶ヶ谷小学校

日 時 2013 年 11 月 8 日（金） 9：30 ～ 12：15

場 所 梶ヶ谷小学校 ビオトープ

内 容 ビオトープの生きものの採取、生きものの観察

ビオトープで各児童に手網を渡して、生きものを採取した。その後、理科室へ移動して、肉眼や虫眼鏡で採取した生きものをシャーレに移して観察した。観察後、モニターや写真を使って生きものを解説した。最後に、児童による質疑応答を受けた。

観察した生きもの一覧

1	ギンヤンマ(ヤゴ)	6	モノアラガイ
2	オオシオカラトンボ(ヤゴ)	7	サカマキガイ
3	シオカラトンボ(ヤゴ)	8	ミズムシ
4	ショウジョウトンボ(ヤゴ)	9	イトミミズ
5	タニシ	10	シマイシビル



生きものの採取



生きものの解説



観察した貝類の食痕

3-1-15 高津小学校

日 時 2014 年 1 月 14 日 (火) 14:30~15:05

場 所 高津小学校 ビオトープ

内 容 ビオトープの生きものの観察

ビオトープの解説後、金魚網で生きものを採取。採取した生きものはスタッフが採取したものと合わせ、解説を行った。観察後は質疑応答を行った。

観察した生きもの一覧

1	メダカ	5	ユスリカ(幼虫)
2	モツゴ	6	ハナアブ(幼虫)
3	シオカラトンボ(ヤゴ)	7	カイミジンコ
4	コカゲロウ(幼虫)		



ビオトープの解説



生きものの採取



生きものの解説

3-2 指導者向け学習会

副読本「広げよう つなげよう生きものの輪」を活用した指導者向け学習会を実施した。

日 時 平成25年7月25日（水）14:00～16:10

場 所 梶ヶ谷小学校 理科室並びにビオトープ

内 容 教員向け研修会

梶ヶ谷小学校（ビオトープ、理科室）において小学校教職員の方を対象とした「エコシティたかつ」学校流域プロジェクト学習会を実施した。学習会では、学校流域プロジェクトを中心に「エコシティたかつ」の取組や理念について説明するとともに、実際に高津区の小学校で展開している学習支援の内容（ビオトープでの生きもの調査、顕微鏡等による生きもの観察）を体験していただいた。



課長挨拶



区担当職員よりエコシティ高津紹介



学校流域プロジェクト紹介



ビオトープでの生物採取体験



理科室での観察 1



理科室での観察 2



まとめ



大型テレビを活用してのまとめ



シオカラトンボのヤゴ



モノアラガイ

4 「たかつ自然の賑わいづくり」事業の推進

4-1 「たかつ水と緑の探検隊」のモデル実施

平成 24 年度に引き続き、市立緑ヶ丘霊園内を歩きながら地形と水循環、そこに生える植物の状態と環境や防災との関わりなどについての確認と、間伐等の森の管理作業体験を行った。

平成 25 年度は、以下の 2 回実施するとともに、1 回目と 2 回目の間には、森林整備作業も行った。

第 1 回目：平成 26 年 2 月 22 日（土）

整備作業：平成 26 年 3 月 6 日（木）、7 日（金）、12 日（水）

第 2 回目：平成 26 年 3 月 15 日（土）

4-1-1 第 1 回「たかつ水と緑の探検隊」

日時：平成 26 年 2 月 22 日（土） 13:00～15:30

場所：川崎市立緑ヶ丘霊園内の森

講師：岸 由二氏（「エコシティたかつ」推進会議委員長、慶應義塾大学名誉教授）

参加人数：約 13 名

（1）森の観察

シラカシやシロダモなどの常緑樹が多くみられる場所では、林床が暗く、下層植物があまり生えていないため、雨が直接地表に当たることから土が流れ出しやすく、保水力が低いことを確認した。

一方、落葉樹が多く林床が明るい森では、アズマネザサなどの下層植物が繁茂しており、下草や堆積した落ち葉などが一旦雨を受け止めるため、保水力が高く、あまり土の流出が無いことを確認した。

また、第 2 回目までに間伐等の管理作業を行う予定地を見学し、常緑樹が森を覆い、林床が暗く、下草が少ない現状の確認を行った。



森の解説 1



森の解説 2

(2) 外来植物（トキワツユクサ）の駆除

トキワツユクサは南米原産の植物で、近年各地で生息域を広げており、在来植物が駆逐されてしまうといった問題が発生しており、要注意外来生物に指定されている。

緑ヶ丘例年内でも一部にもこのトキワツユクサが繁茂しており、駆除作業を実施した。

昨年度は根ごと抜き取り駆除したが、トキワツユクサは低温に弱いことから、先週の大雪で付近に残っていた雪で覆うことによる駆除を試みた。次回3月15日の探検隊で雪による駆除の効果について確認することとした。



道路の雪をトキワツユクサにかける



比較対象として一部は雪をかけず

(3) 湧水地の観察とメダカの放流

湧水池では、事前に事務局側で採取した生きものを観察した。観察できた生きものは、メダカ、ヨコエビ、マツモムシの3種類のみで、トンボのヤゴ等は見当たらなかった。

生きものが少ないため、参加者でメダカを放流した。メダカを放流することで、メダカを食べるギンヤンマのヤゴが棲むなど、生きものが賑わう池になることが期待される。



池の生きものの観察



メダカの放流

(4) 参加者による感想

- ・ 円筒分水の近くに住んでいて、鳥を楽しく観察しています。
今回は、木のことをいろいろと教えていただき、とても勉強になりました。
- ・ 緑ヶ丘霊園の近くに住んでいて、こどもとよく遊びにきていました。
今日のようなプログラムは、中学生の自然科学部のようなこどもたちにとっては勉強にもなり、作業の力にもなるのではと思いました。
- ・ 定年退職後、なにか地域の役に立てることは無いかと思っていたところ、チラシの「探検隊」の文字が目飛び込んできて、参加しました。
今日はいろいろと勉強になりました。



副区長の挨拶



参加者からの感想・意見交換

4－1－2 森林整備作業

保水力が高く、生きものが賑わう森に再生するため、第1回（2月22日実施）の探検隊以降、岸氏の指導の下、事務局側（NPO 法人鶴見川流域ネットワーキング・高津区役所）で、3日間をかけて、事前に、谷戸の一部の森を間伐し、カントリーヘッジを設置した。



初日作業前の谷戸の様子



3日目作業後の谷戸の様子



倒した木の玉切り



カントリーヘッジ

4-1-3 第2回「たかつ水と緑の探検隊」

日時:平成26年3月15日(土) 10:00~14:30

場所:川崎市立緑ヶ丘霊園内の森

講師:岸 由二氏 (「エコシティたかつ」推進会議委員長、慶應義塾大学名誉教授)

参加人数:約22名

(1) 森の観察

間伐を実施した谷戸への移動途中で、前回に引き続き、森の保水力や生物多様性の観点から、森を観察した。

その後、第1回の探検隊以降に整備作業を行った谷戸を観察。間伐前と比べて林床が非常に明るくなっていることから、今後、谷戸上部の墓地との境界にわずかに生えているアズマネザサが広がり、谷戸の保水力が向上していくことが期待されると岸講師より説明を受けた。



森の解説1



森の解説2

(2) エノキの苗の移植

間伐により明るくなった谷戸をより生きもので賑わう森にするため、オオムラサキやタマムシなどの多くの昆虫がよりどころとしている落葉樹のエノキの植樹を今後進めていく始めの一步として、園内の落ち葉捨て場周辺で自然に芽吹いていたエノキの苗（いずれ園内の整備で刈られてしまうもの）を、参加者で抜き取り、谷戸の一角に移植した。



エノキの抜き取り



エノキの移植

(3) 外来植物（トキワツユクサ）の駆除

第1回の探検隊において、雪で覆った場所はその後雪解けが進み、トキワツユクサは葉が黒く溶けているものの、茎や根まではダメージを与えることができなかった。

そのため、参加者で抜き取り作業を実施し、ごみ袋2袋分のトキワツユクサを駆除した。抜き取ったトキワツユクサは、焼却処分した。



抜き取り作業の様子



駆除したトキワツユクサ

(4) 間伐体験・カントリーヘッジの設置

普段、あまり使うことのないノコギリの使い方を学びながら、直径15cm程度の樹木の間伐体験を実施した。

また、間伐した木を活用して、谷戸の一角にカントリーヘッジを設置した。



抜き取り作業の様子



出来上がったカントリーヘッジ

(5) 参加者による感想

- ・かけや意外と重かった。
- ・トキワツユクサを採るのが、予想以上に面倒で大変だった。
- ・トキワツユクサが重かった。
- ・高校の課題で、身近なものをテーマにする研究があるので、トキワツユクサを調べたい。
- ・これまで、落葉樹と常緑樹の違いを考えたことがなかったが、落葉樹の森でないと笹が育たないというのは勉強になった。
- ・トキワツユクサがいっぱいあって採るのが大変だったが、ここで一気にやっつけないと後が大変なので、これからもやっていきたい。
- ・今日植えたエノキの成長と一緒に、自分も元気でいられるようにしたい。



参加者からの感想・意見交換